

B-7 地図を利用した共有 Weblog システム—“場所ブログ”

二見 匡則

ビジュアルインタフェース研究室

1. 研究目的

観光名所・宿泊施設などのパンフレットにはユーザ(利用者)の言葉が少なく、これではユーザは場所、旅館などの選択に困る。そこで、本研究 Weblog(日々更新される日記的な Web サイトの総称)を利用し、その場所の利点・欠点をユーザが情報を詳しく書き残すことで、新たに利用するユーザはその場所の情報を詳細に知ることができるシステムの試作、検証することを考えた。

2. 場所ブログの提案

本研究では現在地に行ったユーザのみが、現在地から書き込むことができる Weblog(ブログ)「場所ブログ」を提案する。これは普通のブログとは違い、場所1ヶ所に対して1つのブログが存在している多人数共有型ブログである。

場所ブログでは、現在地情報(感想・イベント情報など)が携帯電話から簡単にブログに書き込める。PCから閲覧し、コメントも書き込むことができるので、新たな情報を現在地に行ったユーザから手に入れることができるなど、ブログの利点も活かすことができる。

3. システム概要

1) 書き込みシステム

ユーザは現在地から、GPS機能付き携帯電話でQRコードを読み取り、登録とブログ書き込み方法が提示されているページにアクセスする。

初めてのユーザは、最初に登録をする必要がある。登録方法ページから管理人に、その場所の写真・現在時刻・位置情報を添付し、認証登録メールを送る。認証登録が完了したら、次にユーザは携帯電話からメールで記事・情報を場所ブログに送信することができるようになる。送信したメールはサーバに転送され、ブログに掲載される。

管理人はユーザから送られてきた認証登録メール内容を判断し、認証する(図1)。



図1 書き込みシステム

2) 閲覧システム

ユーザはPCから地図ページにアクセスする。日本地図が表示されたら、閲覧したい場所の吹き出しを選択すると、吹き出し内にリンク先が表示される。そのリンク先をクリックすると、その場所のブログ画面が表示され、閲覧することができる(図2)。



図2 閲覧システム

4. 場所ブログの作成

ブログは Nucleus というソフトウェアを使用した。さらに NP_Moblog v1.15 というメールで更新出来る機能を追加し、更新を可能にした。QRコードは QR Code Editor Ver.2.30で作成した。地図は Google Maps API [1]を用いて地図上にマーカー設置・操作、コントロール、マップオーバービューコントロール機能を JavaScript で作成した。

5. 検証

同研究室の学生に協力してもらい、システム概要の流れで実験を行った。現在地に行き、QRコードを発見して条件ページにアクセスし、現在地画像・時刻・位置情報を添付した登録メールを送信した。その後、場所ブログに載せる記事を投稿し、投稿が完了したらPCから閲覧した。検証した結果、ユーザは携帯電話だけで記事を自分のブログのように書き込むことができた。

6. まとめ

ブログの機能を利用することでユーザー(利用者)の感想・イベントに関する情報などが、飾られることのない言葉で書き込まれており、訪れたことのない場所を次回利用する際に、参考になることがわかった。

参考文献

[1]古籾一浩: Google Maps API 逆引きクイックリファレンス—WEB2.0 対応, 毎日コミュニケーションズ, 2006 年